



2016年10月25日

～田園都市線の利便性向上、混雑緩和・遅延対策を積極的に推進～
**池尻大橋～渋谷間を含む電車定期券で東急バスにも乗車できる
「バスも！」キャンペーン第2弾を実施します**

東京急行電鉄株式会社

当社は、2016年11月1日(火)から2017年1月31日(火)までの平日に、「バスも！」キャンペーン(以下、本キャンペーン)第2弾を実施します。

本キャンペーンは、田園都市線の池尻大橋～渋谷間を含む電車定期券をお持ちのお客さまを対象に、国道246号線を運行する渋谷駅方向の東急バスに追加料金なしでご乗車いただけるキャンペーンです。国道246号線沿いにお勤めのお客さまなどは、バス利用によって、職場のより近くで下車できるようになり、通勤の利便性が一層向上します。

2016年7月、1か月間限定で本キャンペーンを初めて実施したところ、お客さまにご好評いただき、再開の声を多数いただきました。今回は、実施期間、利用時間帯、利用バス停など、内容を拡充して実施し、お客さまの利便性向上、田園都市線の混雑緩和の効果を改めて検証することで、今後の運用に向け、より具体的に検討を進めていきます。

現在、田園都市線の朝ラッシュ時は高い混雑率となっており、ご利用のお客さまに大変なご迷惑をおかけしています。当社では、混雑を一因とした遅延の解消を重要な課題として位置づけ、これまでも列車の増発や準急運転の開始、オフピーク乗車を促進する「早起き応援ポイント」など混雑緩和に努めてきました。本キャンペーンもその一環として、最混雑区間の交通手段の選択肢を広げる試みです。

また、2016年4月からは東急線沿線の郊外駅周辺を中心に、サテライトシェアオフィス「NewWork」の運営を開始し、時間や場所に捉われない執務環境を整えることで、従来の通勤スタイルに捉われない、職住が接近したワークスタイルを提案しています。

これ以上ピーク時間帯の運転本数を増やすことは難しいものの、少しでも混雑緩和につながる施策を推進することで、より魅力ある沿線の実現を目指していきます。

本キャンペーンの詳細は別紙のとおりです。

以 上

【別紙】

<「バスも！」キャンペーン第2弾の内容>

実施期間 : 2016年11月1日(火)から2017年1月31日(火)までの平日

実施時間 : 朝7時から9時30分まで

実施内容 : 池尻大橋～渋谷を含む電車定期券をお持ちのお客さまが、国道246を走る渋谷駅(片方向)の東急バスに乗車可能

乗車対象バス停 : 三軒茶屋12番・13番、昭和女子大、三宿、池尻、池尻大橋駅、大橋(国道246号沿い)

乗車方法 : バス停に配置した係員が、対象定期券を提示されたお客さまにバス乗車券を配布し、ご乗車いただきます。

※年末年始期間【12月30日(金)～1月3日(火)】はキャンペーン対象外です。

※輸送障害などによる振替輸送時は、本キャンペーンを中止します。

※池尻大橋～渋谷を含む電車定期券については、通勤・通学・小児用いずれも対象となります。



◆研究者からのコメント

東京都市大学 都市生活学部 都市生活学科
教授 明石達生(あかしたつお) 専門:都市政策

「鉄道とバスの連携」というと、両者の乗り継ぎを意味するのが常だが、今回の「バスも！」は鉄道路線に並行するバス路線との連携に新奇性がある。

渋谷駅から山手通りにかけての国道246沿いに職場のある方々にとって、渋谷駅の雑踏を通らずに、最寄りのバス停から通勤する快適さを体験して頂くことは意義のあることだ。

朝の国道246号線ではバス専用レーンが設けられ、頻繁にバスが来ても遅れが発生しにくい。交通混雑の決め手はピークカット。ピーク時間帯に鉄道からバスに移る通勤客が少しでもいれば、その分が確実に混雑対策として期待できる。

【参考】

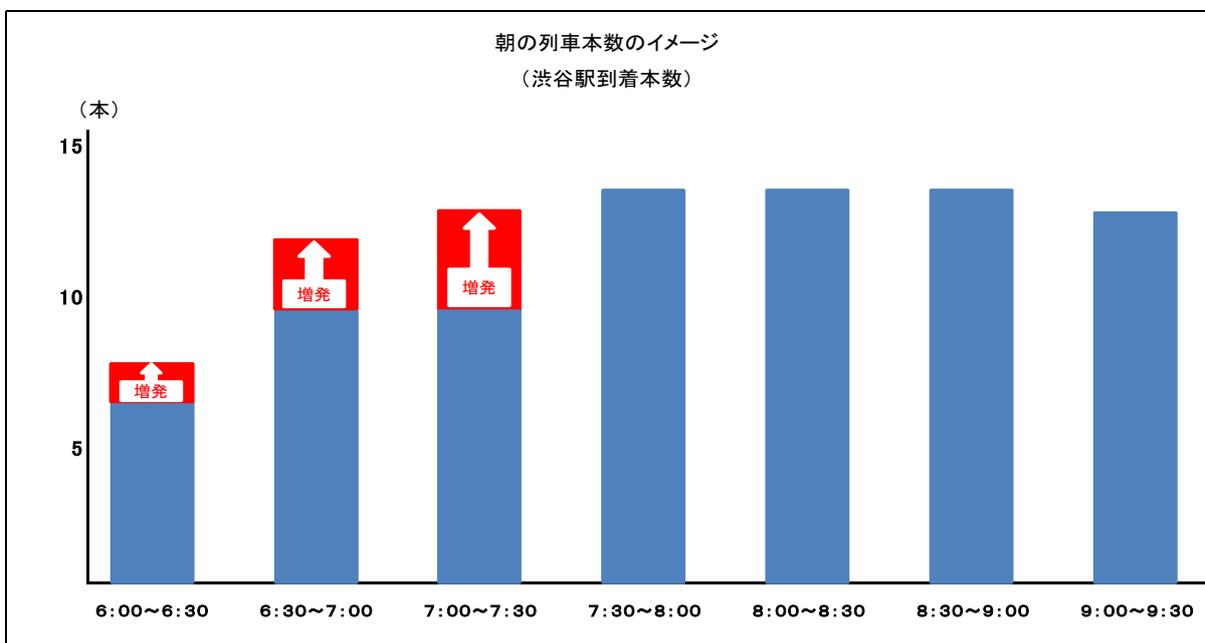
＜田園都市線の混雑緩和・遅延対策の取り組み＞

○早朝ダイヤの増強 ～朝ピーク時間帯に匹敵する列車本数を早朝6時台から運転～
2017年以降、順次実施するダイヤ改正にて早朝の列車を増発します。

朝のピーク時間帯(渋谷着8時台)に匹敵する列車本数を早朝から運転します。これにより、6時30分～9時30分までの3時間が2～3分間隔での運転となります。ピーク時間帯に比べて混雑が少なく、目的地までの所要時間も短いオフピーク時間帯の運転頻度や着席機会が増加し、さらにご利用いただきやすくなります。

また、特定の車両への集中乗車により、遅延が生じる場合があるため、他の車両に分散してご乗車いただくよう積極的なPR活動も推進していきます。

※6～7時台に8本程度の増発を予定(大井町線直通を含む)



PR 活動事例

オフピーク乗車促進ポスター



分散乗車促進ポスター



○早起き応援ポイント増量キャンペーンの実施

田園都市線の対象時間に早起き乗車いただいたお客さまを対象に、TOKYUポイントによる早起き応援ポイントが更に貯まる期間限定のキャンペーンを実施しています。2016年10月3日～12月30日の平日の「早起き設定時刻」に、田園都市線各駅(渋谷駅除く)の自動改札をご入場いただくと、毎日5,000名さまに抽選で100ポイント、毎月100名さまに抽選で10,000ポイントをプレゼントするキャンペーンを実施しています。

○迅速な情報配信と配信情報の拡充

スマートフォン向けの東急線アプリや運行情報メールなどのツールをさらに有効活用し、運行見合わせや大幅な遅延が発生した場合に、すでに行っている迂回ルートのご案内に加え、今年度からは目的地までの所要時間を迅速にお客さまに提供する駅間 time の運用開始や駅の混雑状況が把握できる対象駅の拡大など、情報配信機能の強化を図っています。

今後はさらに便利で快適にご利用いただけるよう、列車内の混雑状況や目的地までの所要時間の傾向が判断できる情報提供など、さらなるサービス拡充を検討していきます。

これらの計画については、昨年度から開始した「いい街 いい電車 プロジェクト」のホームページやポスター、の中で、適宜、取り組み状況をお知らせしていきます。

○サテライトシェアオフィス「NewWork」

東急線沿線を中心とした郊外駅の周辺に、会員制のサテライトオフィスを設置し、テレワークを導入する企業を対象に、快適な執務環境を提供するものです。

2016年5月の自由が丘店、横浜店、吉祥寺店の開業に続き、7月にはたまプラーザ店、8月には二子玉川店が開業し、現在5店舗を当社直営で営業しています。

直営店のほか、シェアオフィス16施設、カラオケ店11店舗、ホテル3施設が提携店として利用可能で、会員の皆さまは提携店すべてを、1枚のライセンスカードで利用することができます。

当社では、2016年9月から、本社勤務員を対象に「NewWork」での勤務が可能となりました。

■サテライトシェアオフィス「NewWork」 公式ホームページ <https://www.newwork109.com/>



「NewWork」たまプラーザ店



「NewWork」横浜店